

4660

五月十日

第一五五號

交通

陸

94

教育總監部經由

通信

通校第一〇一四號

軍鳩管理規則(案)提出ノ件

式第一四三七

昭和十五年五月八日

陸軍通信學校

陸軍省御中

首題ノ件別冊(二十部)ノ通り提出ス

教席第一四九五號
昭和十五年五月十一日

陸軍

陸軍

昭和十五年五月十日
交通標

関係ノ所ニ意見ヲ取ル方使用

35

昭和十五年五月十二日
前午
陸軍通信學校

陸軍通信學校

8660

軍鳩管理規則(案)

昭和十五年

陸軍通信學校

50 12

目次

第一章	總則
第二章	係管
第三章	補充
第四章	購買
第五章	除役
第六章	輸送
第七章	報告通報
第八章	標名簿
第九章	標ノ標識
第十章	雜則
第一様式	軍場現況報告
附録第一	軍場外號名稱圖
附録第二	軍場羽色記載例
附録第三	軍場特徵記載例
附録第四	軍場脚環標識

軍場管理規則(案)

第一章 總則

第一條 本規則ニ於テ軍場ト稱スルハ軍用ニ供スル爲陸軍諸部隊、官衙及學校ニ於テ保管飼育スル左ニ掲グルモノヲ謂フ

一、通信場(場通信ニ用フルモノヲ謂フ)

二、蕃殖場(軍場ノ蕃殖ニ用フルモノヲ謂フ)

第二條 軍場ノ用役左ノ如シ

一、通信場

1. 移動場

2. 固定場

3. 往復場

4. 夜場

二、蕃殖場

1. 種場

2. 育成場

第三條 軍場ハ左ノ各號ノ資格ヲ具備スルヲ要ス

但シ特殊ノ目的ヲ有スルモノハ戰時學費ニ於テ補充上已ムヲ得サルト
キハ本規定ニ依ラサルコトヲ得

一、場体各部ノ對稱宜シキヲ得體質強健頭胸及翼能ノ發育シ性質溫順伶俐
ニシテ所定ノ記號ヲ刻印セル種目無キ金屬製脚環ヲ装着シ飛翔敏速ナ
ルコト

種鳩ハ特ニ体型優秀ニシテ卓越セル通信能力ヲ有シ遺傳性ニ富ミ蕃殖
力旺盛ナルコト

二、年齡ヲ滿期以三月以上タルコト但シ育成鳩ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
三、羽色ハ目立易キ白色ナラサルコト

第二章 保管

第四條 各部隊官衙並學校ニ於ケル軍鳩ノ定數ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第五條 部隊長（官衙ノ長及學校長ヲ含ム以下同シ）ハ臨時ノ缺數ヲ補填
スル爲定數外軍鳩トシテ陸軍通信學校及軍鳩育成所ニ在リテハ定數ノ二
分ノ一以内其他ノ部隊ニ在リテハ定數ノ四分ノ一以内ノ軍鳩ヲ調育スル
コトヲ得

但シ之ニ要スル經費ハ令達豫算内ニ於テ支辨スルモノトス

第六條 所管長官ハ必要ニ應ジ所管内各部隊ノ軍場ヲ彼是交換セシムルハ
定数外軍場ヲ保管轉換セシムルコトヲ得

第七條 各部隊ノ軍場ハ兵ヲシテ取扱ハシムルモノトス但シ陸軍通信學校
並軍場育成所等ニ於テ特ニ必要アルトキハ軍場手(雇員又ハ傭人)ヲシ
テ取扱ハシムルコトヲ得

第八條 陸軍大臣ハ必要ニ應ジ検査官ヲ命ジ各部隊官衙並學校、軍場育成
所等ノ軍場検査ヲ行ハシム

第三章 補 充

第九條 軍場ノ補充ハ毎軍檢ニ陸軍通信學校並軍場育成所ニ於テ主トシテ
補充場ヲ以テ之ヲ行フモノトス

但シ育成場不足ノ場合又特ニ必要アル場合ハ購買場(年齢ニテ月以上三
歳以下ニミテラ購買シタルモノヲ謂フ)又賦約場(年齢ニテ月以上三歳
以下ニミテラ賦約シタルモノヲ謂フ)ヲ以テ補充スルコトヲ得

第十條 定期ノ補充軍場ノ交付時期ハ毎年檢ニ四月乃至九月トス
但シ特ニ必要アルトキハ関係部隊長協議ノ上之ヲ變更スルコトヲ得

第十一條 軍場定期ノ補充率ハ保管定数ノ概テ三分ノ一以内トス

第十二條 軍場ノ定数ニ臨時缺数ヲ生シ他ニ補充ノ途ナキトキハ所管長官

之ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第十三條 補充軍場ノ交付地ハ概ネ左ノ各號ニ依ルモノトス

一、内地部隊ニ在リテハ陸軍通信學校

二、外地部隊並勤員部隊ニ在リテハ補充ヲ受ノハキ部隊ノ所在地

前項ノ交付地ハ關係部隊長協議ノ上適宜變更スルコトヲ得

第四章 購買

第十四條 軍場ノ購入通常陸軍通信學校並軍場育成所ノ職員ヲ以テ之ヲ行

フモノトス 但シ特ニ必要アルトキハ其ノ購買ヲ他ノ部隊ニ委託スルコ

トヲ得

第十五條 軍場ノ購買ヲ要スルトキハ陸軍通信學校長又ハ軍場育成所長ハ

所屬長官ヲ經テ陸軍大臣ニ上申スルモノトス

第十六條 軍場ノ購買、生産並ニ育成ニ関スル細部ノ事項ハ陸軍通信學校

並軍場育成所所屬長官之ヲ定ムルモノトス

第五章 除役

第十七條 各部隊官衙及學校ニ於テ過期軍場ノ定期除役ハ毎年補充軍場受

領直前之ヲ行フモノトス

尚傷疾疾病其他事故等ノ爲除役ヲ必要アルトキハ部隊長又ハ所屬長官ニ

於テ臨時除役ヲナシ所屬長官ニ報告スルモノトス

第十八條 第十七條

第十八條 第十七條ニ依リ陳被メハキ軍場ノ賣却並拵下（民間場普及ノ爲）

ハ各部隊官衙及學校ニ於テ施行スルモノトス

第十九條 過剩軍場ノ賣却ハ拵下ニ関シ必要ナル事項ヲ買受希望者ニ告

知シ買受者ニハ軍場ト共ニ軍場名簿ヲ交付スルモノトス

第六章 輸送

第二十條 軍場ノ輸送ニ要スル人員ハ左ノ各號ニ依ル

一 輸送取締ハ將校下士官屬又ハ技手一人、場管理ノ爲場三百羽毎ニ一人

ノ割ヲ以テ兵又ハ備人ヲ之ニ充ツ

但シ發送地又ハ到着地ニケ所以上ニ合辦スルトヤハ三百羽以内ト雖兵

又ハ備人ヲ使用スルコトヲ得

三 場ノ積載卸下ノ爲要スレハ人夫ヲ使用スルコトヲ得

三 壹千羽以上ノ場ヲ輸送スル場合ニハ將校ヲシテ輸送取締ニ任セシメ必

要ニ應シ下士官屬又ハ技手ヲ以テ助手ニ充ツルコトヲ得

四 輸送場教員少ノ場合ハ鐵道船舶ノ貨物トシテ之ヲ託送シ特ニ必要アル

トキハ所要ノ下士官兵又ハ備人等ヲ附スルコトヲ得

第三十一條 補充スル軍場ノ輸送ハ内地部隊ニ在リテハ補充ヲ受クル部隊

ニ於テ外地部隊並勤員部隊ニ在リテハ陸軍通信學校又ハ軍場育成所ニ於

ヲ之ヲ擔任スルモノトス

第二十二條 軍場ノ鐵道輸送及船舶輸送ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外當
該輸送ニ関スル規定ニ依ルモノトス

第七章 報告・通報

第二十三條 軍場ヲ保管スル部隊長ハ毎年十一月三十日調ヲ以テ軍場現況
報告(第一報式)ヲ十二月十日迄ニ所管長官ニ提出スルモノトス
所管長官ハ前項ノ報告ヲ取總メ十二月三十一日迄ニ陸軍大臣ニ提出スル
モノトス

第二十四條 軍場ノ補充ヲ要スルハキ部隊ニ在リテハ毎年十二月三十一日
迄ニ所管ノ場數、時期ヲ所管長官經由陸軍大臣ニ申請シ陸軍通信學校長
ニ通報スルモノトス

第二十五條 陸軍通信學校長並軍場育成所長ハ毎年三月三十一日迄ニ當該
年度ニ於ケル軍場ノ幕通、育成並補充ノ計画並前年度ニ於ケル其ノ實施
ノ成績ヲ所管長官ヲ經テ陸軍大臣ニ提出スルモノトス

第二十六條 陸軍通信學校長並軍場育成所長ハ補充軍場交付ノ際飼育訓練
主將米參考ト爲ルハキ事項ヲ補充ヲ受フル部隊ニ通報スヘシ

第二十七條 各部隊長ハ通信、訓練ノ狀況ヲ陸軍通信學校長又ハ軍場育成所長ニ通報スルハシ

第八章 軍場名簿

第二十八條 軍場名簿（第二様式）ハ場一羽毎ニ之ヲ調製シ該場ヲ保管スル部隊官衙及學校ニ於テ保管スルモノトス
軍場ノ所屬ヲ変更シタルトキハ其ノ軍場名簿ハ之ヲ新所屬部隊ニ送付スルモノトス

第二十九條 場名簿ハ場ヲ生産セシ部隊ニ於テ調製スルモノトス
但シ購買場並献納場ニ在リテハ民間場生産者之ヲ調製シ購買官所要ノ補修ヲナスモノトス

第三十條 軍場名簿ハ除役、廢、斃又ハ失踪等ニ因リ軍場ヲラサルニ至リタルモノアルトキハ其ノ事由ヲ記入シ爾後五年間之ヲ當該部隊ニ保存スルモノトス

第三十一條 軍場ノ名稱ハ各年度別ニ生産番號ヲ以テシ右番號ヲ刻セル脚環ヲ變化後概ネ十口ヲ以テ場左脚ニ装着シ軍場名簿ヲ調製スルモノトス
前項ノ名稱ハ変更スルコトヲ得ズ

第三十二條 軍場外貌ノ名稱、羽色及特徴ノ記載ニ付テハ附録第一、第二

第三ニ依ル

第九章 鳩ノ標識

第三十三條 鳩ノ管理ヲ容易ナラシムル爲脚環ニ星章生産部標名生年鳩番

號ヲ刻印シ標識ス(附録第四)

第三十四條 脚環ハ幅六耗、直徑八耗ノアルミニウム製鋼鐵線入無縫目

トス

第三十五條 脚環ハ孵化後概ネ十日ニ通常鳩ノ左脚ニ鳩ノ立姿ニ於テ刻字

逆ニナル如ク装着スルモノトス

第十章 雜則

第三十六條 軍鳩ノ傳染病豫防ニ関シテハ別ニ定ムルトコロニ依ル

第一様式

昭和十一年三月十四日 軍場現況報告 提出部隊

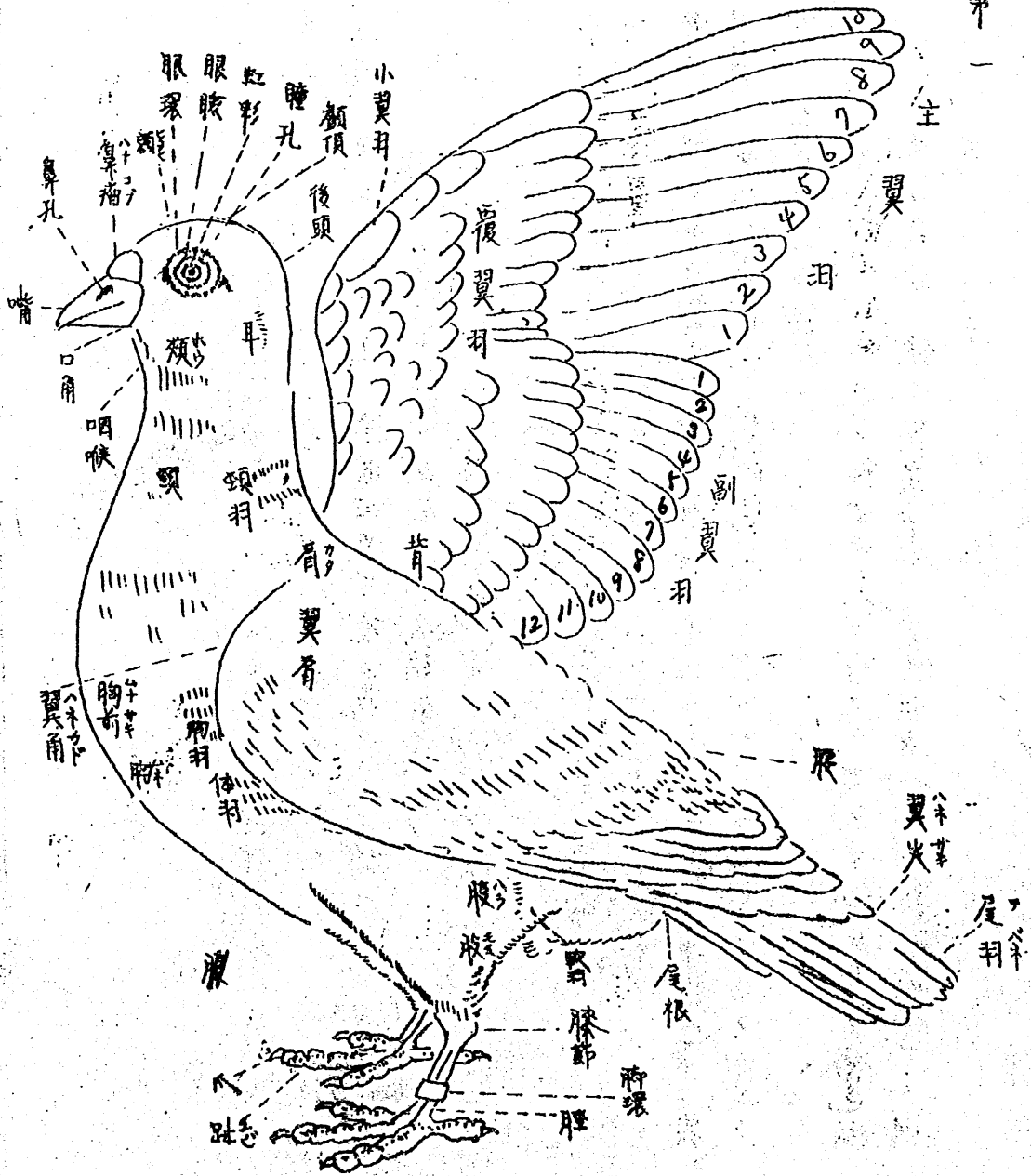
一 保管数

計	現在数	定数	区別		小計
			通	信	
			移動場		
			固定場		
			往復場		
			夜場		
			種場	幕	
			育成場	砲	

- 二 本年度間ニ於ケル軍場異動ノ概況
- 三 成績ノ概況
- 四 将来ニ関スル意見

軍外鳥貌名稱圖

附錄第一



附録第二

軍鳥羽色記載例

一 灰

体羽、翼羽共灰色ヲ呈シ覆羽ノ末端ニ黒色ノ劃線ニ或ハ三條アル
羽色ヲ謂フ而シテ其色彩ニ依リ灰胡麻及銀灰ニ分ツ

(一)

灰胡麻

灰ニシテ黒色ノ鱗狀斑点ヲ有スルモノヲ謂ヒ翼ノ黒色斑点
ノ濃淡ニヨリ濃灰胡麻、淡灰胡麻ト謂フ

(二)

銀 灰

灰色ニ銀色ヲ交ヘタル羽色ヲ謂フ而シテ此ノ羽色ハ覆翼羽
ノ端末ニ黒線ヲ有セザルモノトス

二 黒

体羽、翼羽共ニ黒色ヲ呈スルモノヲ謂フ
翼ニ黒胡麻ニ分ツ

(一)

黒胡麻

黒ニシテ僅ニ灰色ノ鱗狀斑点ヲ有スルモノヲ謂フ

三 栗

体羽、翼羽共ニ褐色ヲ呈シ長羽ノ末端ニ至ルニ從ヒ白色ヲ帯ヒ覆
翼羽ノ末端ニ濃褐色ノ劃線ニ或ハ三條ヲ有スルモノヲ謂フ而シテ

翼ニ左ノ羽色ニ細別ス

(一)

栗胡麻

栗ニシテ灰白色ノ鱗狀斑点ヲ有スルモノヲ謂ヒ翼ノ褐色斑
点ノ濃淡ニ依リ紅栗胡麻、淡栗胡麻(又ハ乳栗胡麻)ト稱
ス

- (三) 紅 栗 栗ノ濃色ナルモノニシテ稍々赤色ヲ帯ヒタルモノヲ謂フ
- (三) 乳 栗 栗ノ淡色ナルモノニシテ斑球入牛乳色ヲ呈スルモノヲ謂フ
- (四) 灰 栗 栗ニシテ灰色ヲ帯ヒ覆翼羽ノ末端ニ褐色ノ鮮明ナル劃線ニ
或ハ三條ヲ有スルモノヲ謂フ
- 四 白 全身白色ヲ呈スルモノヲ謂フ
- 五 斑 (斑) 灰、黒、栗色羽中ニ白色ノ大半ヲ有スル羽色ヲ謂ヒ其色彩ニ從
ヒ灰斑(灰栗胡麻斑) 黒斑(黒胡麻斑) 等ト稱ス
- 六 雜斑 三色以上ノ羽色相混在セル羽色ヲ謂フ
- 七 飛白 黒色羽ト白色羽トノ混在セル羽色ヲ謂フ

附録第三

軍馬特徴記載例

- 一 白 爲所ノ白斑ヲ謂フ
- 二 羽白 白色ノ飛羽ヲ有スルモノヲ謂ヒ其程度ニ從ヒ兩羽白、
（兩羽何枚白）左（右）羽白（左（右）羽何枚白）等ト稱ス
白色ノ尾羽ヲ有スルモノヲ謂ヒ其程度ニ從ヒ全尾白左（右）
何枚尾白等ト稱ス
- 三 尾白 何枚尾白等ト稱ス
- 四 刺毛 体羽中ニ白色ノ小羽毛ヲ混在スルヲ謂フ而シテ其部位ニヨリ
全身刺毛、眼刺毛、額刺毛、後頭刺毛、等ト稱ス
- 五 脚羽及趾羽、蹄及趾ニ羽毛ノ生セルモノヲ謂フ
- 六 逆毛 体羽ノ一部ニ於テ羽毛ノ逆生スルモノヲ謂フ而シテ其部位ニ
ヨリ頭逆毛、頸逆毛、胸逆毛等ト稱ス
- 右ノ外傷ニ起因スル瘰癧痕脱毛痕ニシテ特徴トナルヘキモノハ記載スルモ
トス

附録 第四

軍馬脚環標識

一、脚環ニ刻印スルキ記號左ノ如シ

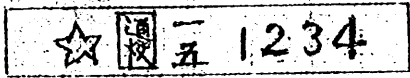
星章

生産部隊名

生産年

馬番號

二、圖例



三、装着圖

(馬左脚ニ文字例ニテ如ク嵌入ス)

